



大人のアクセサリー作家のための

基本資材ガイド

これさえあれば作れる！
迷わず揃えられるアクセサリー資材帖

無断転載禁止



La ♡ Porin

はじめに



アクセサリー作りで、最初に迷いやすいのが「資材選び」です。

9ピン、Tピン、丸カン、Cカン、チェーン、留め具。
名前は聞いたことがあっても、
どれを選べばいいのか、どのサイズを買えばいいのか、
最初は分かりにくいものです。

でも、資材選びは作品の土台です。
どんなに美しい花やビーズを使っても、
それを支える金具やパーツが合っていないければ、
作品全体の印象は大きく変わります。

このガイドでは、レッスンや制作でよく使う基本資材を、
初心者の方にも分かりやすくまとめました。

すべてを一度に完璧に揃えなくても大丈夫です。
まずは必要なものから少しずつ。
自分の制作に合う資材を知り、
少しずつ“作家の道具箱”を整えていきましょう。

資材選びは、作家としての美意識を育てる第一歩です。
小さな金具ひとつにも、作品の品格は表れます。

最初に揃えておきたい 基本資材①

ここには、アクセサリ制作の基本となる資材をまとめます。
まずはこのページの資材から揃えておくと、
多くの作品制作に対応しやすくなります。

● 9ピン

【用途】

ビーズやパーツをつなぐ時に使う基本金具です。
両端に輪を作ることで、パーツ同士を連結できます。

【最初に揃えるなら】

0.6mm×25mm～30mm

ゴールド系・シルバー系をそれぞれ1袋ずつ。



● Tピン

【用途】

ビーズやパーツの先端を留める時に使います。
揺れるパーツや、先端にビーズを下げたい時に便利です。

【最初に揃えるなら】

0.6mm×25mm～30mm

ゴールド系・シルバー系をそれぞれ1袋ずつ。

ビーズ穴よりピンの頭が小さいと、
ビーズが抜けてしまうことがあります。
穴の大きいビーズには注意しましょう。



最初に揃えておきたい 基本資材②

● 丸カン

【用途】

パーツ同士をつなぐための基本金具です。

チャーム、チェーン、留め具などをつなぐ時に使います。

【最初に揃えるなら】

0.5mm×4mm、0.6mm×4mm

ゴールド系・シルバー系をそれぞれ1袋ずつ。



● Cカン

【用途】

丸カンと同様にパーツ同士をつなぐ際に使用しますが、特に「パーツの抜けを防ぎたい箇所」に適しています。

【最初に揃えるなら】

0.5mm×2.5mm×3.5mm、0.6mm×3mm×4mm

ゴールド系・シルバー系をそれぞれ1袋ずつ。



● チェーン

【用途】

ネックレス、ブレスレット、

カットして揺れるイヤークセサリーなどに使用し、作品全体の印象を大きく左右する資材です。

【最初に揃えるなら】

細めで上品に見えるチェーンを、

ゴールド系・シルバー系で揃えるのがおすすめ



最初に揃えておきたい 基本資材③

イヤリング金具・ピアス金具

アクセサリ制作でよく使うのが、
イヤリング金具・ピアス金具です。

同じ花パーツでも、どの金具を選ぶかによって、
仕上がりの印象や使いやすさが変わります。

作品のデザインだけでなく、身につける方の耳元で美しく見える
か、重さに耐えられるか、使いやすいかも考えて選びましょう。



● カン付きタイプ

【用途】

金具に小さな輪がついているタイプです。
丸カンやCカンを使って、花パーツやビーズ、
チェーンなどをつなげることができます。

【向いている作品】

- ・揺れるイヤリング、ピアス
- ・ビーズやチャームを下げるデザイン
- ・チェーンを使ったデザイン
- ・軽やかに動きのある作品



● 貼り付けタイプ

【用途】

金具の平らな部分に、
パーツを接着して使うタイプです。

【向いている作品】

- ・ 耳たぶにぴったり添うデザイン
- ・ 小さめの花パーツ
- ・ カボションやパールを使った作品
- ・ 揺れない上品なイヤークセサリー



● シャワー台タイプ

【用途】

穴のあいた台座に、テグスやワイヤーで
ビーズやパーツを留めつけて使うタイプです。
立体感やボリュームのある作品に向いています。

【向いている作品】

- ・ 耳たぶにぴったり添うデザイン
- ・ ビーズをたくさん使う華やかなデザイン
- ・ 花を複数組み合わせる作品
- ・ ブローチのような存在感を出したい作品

【注意点】

シャワー台の大きさによって、仕上がりのボリュームが
変わります。パーツを付けすぎると重くなりやすいので、
耳元につけた時に負担がないか、左右の重さが揃っているかも
確認しましょう。



● フック式ピアス

【用途】

耳に引っかけて使う、フック型のピアス金具です。
カン部分に丸カンやCカンでパーツをつないで使います。

【向いている作品】

- ・揺れるピアス
- ・軽やかなデザイン
- ・チェーンやビーズを下げる作品
- ・縦ラインを美しく見せたい作品

【注意点】

フック式は外れやすい場合があるため、
必要に応じてシリコンキャッチを合わせると安心です。
販売作品にする場合は、キャッチを付ける配慮も大切です。



イヤリング金具やピアス金具は、
ただ「つけられる」だけで選ぶのではなく、
作品の美しさと使いやすさを支える大切な資材であることを
意識して選んでください。

イヤークセサリーは顔まわりの印象を大きく変えます。
金具選びにも丁寧に目を向けて、大人の女性に似合う
上品で美しい仕上がりを目指しましょう。

あると便利な資材①



ここに載せている資材は、
最初からすべて揃える必要はありません。
制作に慣れてきたら、
作りたい作品やデザインに合わせて、
少しずつ追加していきましょう。

● カニカン&アジャスター

【用途】

カニカンはネックレスやブレスレットの
留め具として使います。
アジャスターネックレスやブレスレットの
長さを調整するために使います。



【選ぶ時のポイント】

小さすぎず、開閉しやすいサイズ。
ゴールド系・シルバー系を用意しておくとう便利です。

● 座金

【用途】

ビーズやパールの上に添えて、
装飾性を高めるパーツです。
マニキュアフラワーの花芯としても使います。

【選ぶ時のポイント】

使い方によって、作品がクラシカルにも華やかにもなります。
花芯としては4mm～6mmが使いやすいです。



あると便利な資材②



● キャップ

【用途】

ビーズやパールの上下にかぶせるように使う装飾パーツです。

ビーズの穴まわりをきれいに見せたり、パールや大きめビーズに華やかさを添えたり、作品全体を少しクラシカルで上品な印象に仕上げたい時に使います。

マニキュアフラワーのがくとして使うと完成度が上がります。



【選ぶ時のポイント】

キャップは、ビーズやパールのサイズに合ったものを選ぶことが大切です。

キャップが大きすぎると、ビーズを覆いすぎて重たい印象になります。

小さすぎると、装飾として目立たず、バランスが取りにくくなります。

また、キャップのデザインによって作品の雰囲気が変わります。

繊細な透かし模様のキャップは、上品で軽やかな印象に。

厚みのある華やかなキャップは、存在感のある印象に。

シンプルなキャップは、作品全体をすっきりまとめくれます。

最後に



アクセサリー作りは、
マニキュアフラワーやビーズを
美しく組み合わせるだけではありません。

それを支える金具やチェーン、留め具の選び方にも、
作り手の美意識が表れます。

最初は、資材の名前を覚えるだけでも大変かもしれません。
でも、ひとつずつ知っていくことで、
「これは何に使うものか」
「この作品にはどの金具が合うか」
「もっと美しく仕上げるには何を選べばいいか」

が少しずつ分かるようになります。
焦らなくて大丈夫です。
あなたの作品づくりに必要な道具箱を、
少しずつ整えていきましょう。
そしていつか、
小さな金具ひとつにもこだわりながら、
自分の想いと美意識を宿した
“あなたにしか咲かせられない花のジュエリー”を
生み出していただけますように。